会議の経過	
開会年月日時刻	令和８年６月２４日（水）　午後３時００分
閉会年月日時刻	令和８年６月２４日（水）　午後３時５８分
会議の場所	館林市役所　５０１ＡＢ会議室
会議次第	

１．　開会

２．　会議録署名委員の指名

３．　前回会議録の承認

４．　教育長事務報告

５．　議事

　議案第６５号　館林市社会教育委員の委嘱について

　議案第６６号　館林市青少年センター運営協議会委員の委嘱について

６．　その他

７．　閉会

会議の経過	
出席者	教育長　中　村　美江子 教育長職務代理者　井　上　美智子 教育委員　堀　口　哲　哉 教育委員　木　戸　浩　之 教育委員　栗　原　　昇
欠席者	なし
提案説明のため出席した者	教育部長　木　村　和　好 教育総務課長兼学校給食センター所長　荒　川　博　一 学校適正配置推進室長　栗　田　祥　仁 生涯学習課生涯学習係長　関　口　恵実子 参事兼学校教育課長　峯　﨑　正　樹 文化振興課長　荒　井　栄次郎 スポーツ振興課長　田部井　　修 たてばやし向井千秋記念子ども科学館長　田　中　洋　子 図書館長　原　　幸　恵 総括係長　岩　瀬　美花里 書記　江　原　康　仁

会議の経過	
教育長	それでは定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会します。（午後３時００分） 本日は、生涯学習課の森田課長が所用で欠席のため、代わりに関口生涯学習係長に出席いただいております。 本日の日程は別紙のとおりです。 まず日程第２　会議録署名委員を指名します。 今回の署名委員は木戸委員、栗原委員を指名します。 次に、日程第３　前回会議録の承認については、後日読んでいただき、承認するものとして、よろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議ないものと認め、そのようにいたします。 次に、日程第４　教育長事務報告をいたします。 一般事項（１）館林市議会令和８年第２回定例会が６月５日から６月２２日まで行われました。一般質問では１１名の議員が質問を行いました。教育委員会関係では、４名の議員から質問を受け、岩上議員、権田議員については私から、田辺議員、斉藤議員については教育部長から答弁いたしました。 まず、岩上議員からは「学校教育活動の現状と課題」についての質問を受け、本市における部活動の地域展開や群馬教育ビジョン実現プロジェクトに関する弾力的学級編制およびチーム担任制、特別支援教育介助員の配置状況、そして日本語学級および日本語学習プレクラスに対する考え方について答弁いたしました。 次に、権田議員からは「教育の質の充実」についての質問を受け、本市の教育の特色や様々な学びの充実について答弁いたしました。 次に、田辺議員からは「学校給食における安全な食材の確保」についての質問を受け、国産小麦の使用頻度や学校給食における食の安全性について答弁いたしました。 最後に、斉藤議員からは館林市まちひとしごと創生総合戦略についての質問を受け、館林市人口ビジョンと館林市立学校適正規模・適正配置基本方針の推計値の関係について答弁いたしました。 私からの報告は以上でございます。 続いて、教育委員会関係各課の所管事務報告ですが、議案書に記載されている事項について、補足説明等必要なものがありましたら説明をお願いいたします。何かございますか。

会議の経過	
学校適正配置推進室長	はい、教育長。
教育長	はい、学校適正配置推進室長。
学校適正配置推進室長	本日の定例会議案書とは別に、学校適正配置推進室からの資料といたしまして館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会の結果について（報告）と館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会開催結果等一覧を事前に配布させていただいております。そちらの資料について説明をさせていただきます。 令和８年３月に策定しました館林市立学校適正規模・適正配置基本方針の内容を周知するための市民説明会がすべて終了しましたので、その結果概要についてご報告するものでございます。 資料をご覧ください。期間、場所、参加者数についてはご覧のとおりでございます。説明会ではまず、基本方針についてスライドを用いながら概要を説明した後、参加者との質疑応答を行いました。基本方針の内容についてはおおむね理解を得られたものと推察しております。 参加者からの主な質問および意見については、カテゴリー別に申し上げますと、①検討委員会について、②学校再編の時期について、③周知について、④学校教育について、⑤通学について、⑥地域との関係について、⑦その他についてご覧のようなご質問、ご意見をいただいたところでございます。 また、市民説明会に参加できない方々にも広く基本方針を周知するため、市民説明会で投影したスライドに音声をつけた動画を作成し、市公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルにて公開中でございます。小中学校の保護者や未就学児の保護者の皆様には、学校、園からの連絡アプリ等を通じまして周知をさせていただきました。 なお、その他の詳細につきましては、お配りしてある別紙の館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会開催結果等一覧に、会場ごとの参加人数、質問や意見、それに対する回答についてまとめてございます。 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
教育長	ありがとうございました。他にございませんか。 （事務局から「なし」の声あり）
教育長	それでは今回の事務報告について質疑がございましたらお願いいたします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。

会議の経過	
栗原委員	先ほど学校適正配置推進室長から説明がありましたが、私も説明会に参加いたしました。感想としては、市民の関心が高いなと感じました。会議内容ですが、基本方針と今後の流れがとてもわかりやすかったと思います。「学校再編によって地域から子どもがいなくなるわけではない。次世代がこの地域で幸せに暮らしていけるよう、再編を歓迎します。」というコメントがあり、大変良かったなと思います。 これから３地区で検討委員会が開催されるわけですが、今後何回くらい開催し、また意見の集約をどのようにしていくのかお伺いいたします。
学校適正配置推進室長	はい、教育長。
教育長	はい、学校適正配置推進室長。
学校適正配置推進室長	まず、市民説明会では多くの方から様々なご質問やご意見を頂戴しました。その内容については検討委員会でも共有し、再編検討に生かしてまいりたいと考えております。 第１回の検討委員会を、６月１０日（水）に北地区、西地区、南地区合同で開催いたしました。検討委員会を各地区ともに第１回を含め、おおむね６回程度開催し、令和９年１月には各地区検討委員会において、それぞれ基本計画案を取りまとめる予定でございます。 なお、検討委員会の会議の進捗状況などについては、随時、教育委員会定例会などでご報告するとともに、市の公式ホームページなどでも広く市民の皆様に進捗状況をお知らせしていきたいと考えております。
栗原委員	ありがとうございました。３地区で方向性が違った場合、意見は集約されるのでしょうか。それとも、それぞれの地区で違う意見が出たらそのまま進めるのでしょうか。
学校適正配置推進室長	基本計画については、３つの地区それぞれに策定することを考えております。できれば３つの計画が同時に出来上がることが望ましいのですが、検討委員会での検討状況などに応じて若干時期がずれることも想定しております。
栗原委員	よくわかりました。検討委員会のメンバーについても、市民の関心が非常に高かったのでよろしくお願いいたします。
教育長	他にございませんか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	５ページの７月の予定のところで、７月２３日から２４日で絆リーダー育成研修がありますが、この内容について教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。

会議の経過	
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	こちらの研修は、集団活動の中で自分の役割を認識し、考える力を養うこと、それから学校の区域内外の子どもたち同士や指導者との交流を通して幅広い見識を身につけること、また、名護市との交流研修を見据えて、リーダーとしての知識と技能を養うことなどを目的に開催するものでございます。 自然の家みかもでは、レクリエーションや火おこし、バーベキューなどの体験活動や、城沼公民館での講習を行い、グループワークやリーダーとしての心構えや考え方について学んでいただくことになっております。また、自然の家みかもまでは公共交通機関のバスや電車を利用する予定です。 １５名程度の募集のところ、２０名程度の応募があり、調整により１５名に決定いたしました。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	同じく５ページの７月１９日の館林まつりの子ども広場の開催場所が変更された経緯を教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	これまで、館林市まつり子ども広場につきましては、みずほ銀行の付近に設置していましたが、今年は祭り本部がみずほ銀行付近から群馬銀行南側のおがたクリニックへ移動することに伴い、これまで使っていた群馬銀行の東駐車場が緊急車両などの駐車場として使用されることに伴いまして、会場が変更となったものでございます。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	４ページの５月２０日と２７日に開催されたワクわく子育てトーキングファシリテーター養成講座について、どのような様子だったか、また、講座修了後の方々がどのように活動にしていくのか教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。

会議の経過	
生涯学習係長	こちらの養成講座につきましては、ファシリテーター（進行役）を養成する講座となっております。内容としては、身近なエピソードをもとに、参加者が子ども役や親役などの役を演じて、それぞれの立場や気持ちを考えながら交流し、子育てについて話し合い、学び合う学習会となっております。 この講座を修了しますと、県生涯学習センターから修了証が交付され、ファシリテーターとして認定されます。県の教育委員会から派遣依頼があった場合、東部管内などの自治体にファシリテーターとして派遣されることがあります。直近では令和５年度に派遣依頼があり、館林市から２名の社会教育主事が派遣されております。
井上委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	同じく４ページの５月２３日の足尾の環境と植樹について、講座の内容とどんな方が参加したのか教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	この事業は渡良瀬川にサケを放す会との共同開催で実施しているものです。渡良瀬川へのサケの放流体験に関連し、渡良瀬川の水源である足尾山地の環境問題や森林を育てる大切さについて、植樹体験等を通して学習することを目的としています。植樹体験のほか、足尾環境学習センターや足尾銅山観光の見学を行っております。 対象は小学２年生以上の児童と保護者で、今年は２年生から６年生の親子２１名が参加いたしました。
栗原委員	ありがとうございます。植樹は何を植えるのですか。
生涯学習係長	グリーンバンクで管理しているモミジの苗木を植えることになっております。
栗原委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	５ページの７月２３日のユネスコサマースクールについて、内容を教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。

会議の経過	
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	この事業は、地球の未来を担う子どもたちにユネスコの基本理念を伝えるとともに、資料館や博物館などの施設見学を通して国際的視野を育むことを目的に開催するものです。 今年度はＪＩＣＡ筑波施設とＪＡＸＡ筑波宇宙センターの２箇所を見学する予定です。対象は小学４年生から６年生で、チラシや市公式ホームページで周知を図りました。定員４０名に対し、７７名の応募があったため、抽選により参加者を決定いたしました。
井上委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	７ページの５月２８日の多々良アート講座について教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	こちらの講座は、様々な学びの機会を提供することで参加者の知識や教養を高めることを目的に開催している多々良公民館のオープン講座です。美術鑑賞に関しましては、展示会の開催時期に合わせて年４回程度実施しており、地元の美術館にご協力をいただきながら開催している人気の企画と伺っております。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	８ページの城沼公民館エレベーター設備改修工事について、どのような改修なのか教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	城沼公民館のエレベーター改修工事は、老朽化に伴うエレベーターの交換を実施するものでございます。令和６年１０月に停止しており、その後、設計委託を経て今年度工事を行う流れとなりました。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。

会議の経過	
井上委員	同じく８ページの城沼公民館の麦の食文化教室について、内容とこれがシリーズとして続くものなのか教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	こちらの講座は、館林市内に根付く食文化の麦をテーマに、麦の栽培、収穫から食卓に並ぶまでの流れを実習と体験を中心に広く学ぶオープン講座となっており、５月から７月までの全４回を予定しております。城沼公民館周辺の二小、三小区域の親子を対象としており、第１回はサントリービール工場見学、第２回は麦刈り体験、第３回は製粉ミュージアム見学、そして最終回は冷やしうどん作りを体験する予定となっております。
井上委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	１０ページの青少年センターの電話相談なんですが、１件ということで少ない印象を受けます。５月は不登校児童生徒が２３人増加している中、相談したい人は潜在的にいるのかと思いますので、この電話相談のＰＲや啓発活動の現状と課題があれば教えてください。
生涯学習係長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習係長。
生涯学習係長	電話相談の周知につきましては、広報紙や市の公式ホームページ等で行っております。件数につきましては、１６ページをご覧いただきますと教育研究所の電話相談の件数と併せましても、来所件数と比較して少ない状況が続いております。これまでも月に２、３件の相談件数となっており、相談内容が不登校などの場合は、教育研究所での対応をお願いしているところです。今後につきましては、啓発のあり方等について検討していきたいと考えております。
栗原委員	ありがとうございます。館林市にはこうした相談場所があるということをしっかりＰＲしていただければと思います。
教育長	他にございませんか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	１３ページの教職員の人事のところで、第五小学校の山口先生の任用期間が２週間となっている理由は何でしょうか。

会議の経過	
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	第五小学校の山口先生が２週間の病休補というかたちで任用となりましたが、学校教育課としてはお休みされる期間が６月、７月と見込まれたため、せめて６月までと要望いたしました。しかし、ご本人の強い要望もあり、短い期間の２週間という期間での任用となったものでございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	同じく１３ページの校長会議の連絡事項に教育支援委員会での判断が必要と思われる児童生徒の調査についてとありますが、この詳しい内容を教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	本市では毎年、教育支援委員会を開き、特性のある子どもたちの多様かつ適切な学びの場を検討しております。この校長会議においては、具体的にどのような手順ですすめるかを説明しました。 特別支援学級に在籍する児童生徒、あるいは通常学級に在籍しながら様子を見て特別支援学級が適切ではないかと思われる児童生徒について、市の教育支援委員会で検討する前に、まずは校内で教育支援委員会を開き、その児童生徒の実態を把握します。そして、最も重要なこととして、保護者の意向を面談等でしっかりと確認し、適切な協議した上で、市の教育支援委員会に繋げていただくという手順について、説明をさせていただきました。
井上委員	ありがとうございました。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	１４ページの不登校の状況について、５月の前年同月比で増加しております。特に中学生が前月比で見ても大きく増えており、夏休み等の長期休暇の前などに特別な指導をされていると思いますが、５月はゴールデンウィークが５日間ということでそういった連休の前にも特別な指導はされているか教えてください。

会議の経過	
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	委員ご指摘のとおり、中学生の不登校生徒数が６１名から７４名へと増加傾向にあります。これにつきましては、いくつかの中学校に連絡し、小学校で不登校となっていた児童が中学校に進学し、新たな環境で頑張っているというのは伺っておりました。ところが、ゴールデンウィーク明けごろから疲れも生じてきており、欠席が増えてきてしまっているという実情を確認しております。 こうしたことも、学校ではある程度想定されるため、毎月、月初めに心の健康観察といったものを行っております。その状況よっては担任が二者面談を行ったり、相談しやすい教職員と相談する場を設けたりしながら、不登校の未然防止に努めいることろです。 今後、夏季休業も控えておりますので、全校で心のＳＯＳの出し方教育や心のＳＯＳの受け止め方教育を行い、いち早く子どものＳＯＳに気づくこと、また夏季休業明けにも心の健康観察等を行い、子どもたちの悩みや不安に寄り添いながら、不登校をできる限り少なくするために未然防止に繋げる取組みを行ってまいります。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
堀口委員	はい、教育長。
教育課	はい、堀口委員。
堀口委員	今のことに関連して、先ほど出ました心のＳＯＳの出し方・受け止め方の取り組みについて詳しく教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	ＳＯＳの出し方教育と言われるものですが、文部科学省から児童生徒の自殺予防に向けた困難な事態や強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身につけるための教育の推進という通知が出されており、各教科等の授業の一環として年１回は積極的に実施するよう示されている中で、本市としても実施しているものです。 具体的には、悩みや困り事は誰にでもあり、大切なのは１人で溜め込まず、いつでも相談できる人に相談していいんだ、ＳＯＳを出すことが大切なんだということを、授業を通して理解できるようにした教育でございます。
堀口委員	ありがとうございます。

会議の経過	
教育長	他にございませんか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	１４ページの７月２４日に開催される夏季教職員研修会の発達障害に関する研修会の内容と、教職員にこの講座を通して学んでほしいことについて教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	この発達障害に関する教職員研修会は、ここ数年行っているものです。学校教育課だけでなく、こども課や健康推進課など市長部局の４課と連携した研修会となっております。 この研修会の講師に子どもの発達科学研究所の所長である和久田学先生をお招きし、幼児期から小学校・中学校へ繋ぐ発達障害の理解と支援と近年の発達障害を巡る課題と学校現場に求められる支援の２部構成でご講話をいただきます。 これまでも発達障害を中心に講話をいただいておりますが、子どもたちの問題行動には必ず原因があり、その原因となる環境や要因をできるだけ取り除くことで、多くの子どもたちは問題行動が減るといったような内容を中心に講話をされております。この研修の対象者が特別支援学級に携わる教職員となっておりますので、発達障害の理解と対応を学ぶ中で、実際に２学期からの子どもたちへの支援に生かしていただくことを期待して研修を組んでおります。
栗原委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	１４ページの不登校の件に関連して、以前は家庭と先生が連携して話し合いながら改善していく事例が何例も見られたとお伺いしましたが、現在、家庭と学校の交流ややり取りはどのように行われているのでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	本市としての不登校対策は、教育研究所が中心となって作成したサンクスという不登校対策支援対応マニュアルを各学校で共通理解しております。そこでは、１日欠席すれば担任が家庭に連絡し、３日休めば家庭

会議の経過	
	を訪問するなど、学校と保護者、子どもとの繋がりを極力保つよう努めております。 また、今年度から教育研究所には、小学校長経験者である村上先生が研究所の所長代理として着任し、すでに５月からのコンサルテーションということで、４月に不登校となっている児童生徒の様子を教育研究所の所長代理と指導主事で伺いながらすべての学校を訪問し、気になる児童生徒の対応について検討したうえで、今後の対応に繋げるといったことを行っております。まだ、効果が数字には表れていませんが、継続していくことが大事かと思っております。
井上委員	先生方は非常に優秀で熱心に模索されていると感じる一方で、働き方改革等で様々な制限があり、指導が難しい面もあるかと思います。不登校のお子さんはもちろん、お子さんの保護者も自分の子どもを不登校にしてしまった不甲斐なさ感じる方などは、相談したくてもなかなか思いを伝えづらいといった状況もあるかと思います。様々な保護者の気持ちにも寄り添った対応をよろしくお願いしたいと思います。 ありがとうございました。
教育長	他にございませんか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	１６ページの「つつじ未来教室」について、現在の状況と課題を教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	６月１日現在、小学生３名、中学生１名の計４名でスタートいたしました。その後、中学１名が終了し、昨日、小学生２名が終了した一方で、新たに小学生１名が入級し、現在はトータル２名で運営しております。 課題といたしましては、同時期に入級した子どもたちであっても、初めて日本に来て日本語がほとんどわからない状態からスタートするわけですが、同じようにスタートしても理解の度合いに差が生じる点です。そこでの実態に応じた指導の充実が大きな課題と捉えています。 また、指導体制としては、日本語指導員１名と指導助手またはＡＬＴ１名の基本的に２名体制で行っておりますが、児童生徒の数が多くなると実態が多様化、複雑化してしまい、人員が不足することが想定されることから、人材の確保や指導のあり方が今後の大きな課題であると考えております。

会議の経過	
栗原委員	私も見学に行きましたが、遠方の学校に在籍している場合、教育研究所まで、毎日通うのは保護者の送り迎えも含めて大変ではないかと感じました。
学校教育課長	委員のおっしゃるとおり、特に小学生の児童で七小地区などは遠いというのが現状です。この先、通っている児童生徒が０になる日も可能性としてあり得るため、そういった際に、遠方の学校で指導の必要な子どもがいる場合には在籍校へ日本語指導員が巡回して指導する体制なども検討しながら、課題解決に努めてまいりたいと考えております。
栗原委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	２２ページの５月２３日に開催された県スポーツ推進委員軽スポーツ交流会の内容について教えてください。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	この交流会は、県内のスポーツ推進委員の交流と親睦を深めることを目的に毎年開催されているもので、県内の市町村のスポーツ推進委員約１３０名が川場村に集まり、グラウンドゴルフを行いました。各市町村の委員が混じり合って５，６人１組でチームを組み、親睦を深めました。こちらの交流会につきましては、毎年各市町村が持ち回りで開催しているものでございます。
井上委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	１５ページの８月２９日に開催される学縁～学びの縁を結ぶ～の内容について教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらは、おおらか青年会議所こちらが主催をしまして、会場は大泉町の文化むらでございます。近隣市町村に在住の中学２、３年生を対象に、進路を考える機会を提供することを目的としております。 具体的には、東部管内にある大泉高校、常磐高校、わせがく高等学校、太田工業高校、館林女子高校、および自衛隊群馬地方協力本部などが参

会議の経過	
	加し、高校生の生徒による活動発表や中学生が直接高校の先生に質問できるなど、進路選択の貴重な機会となる事業でございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	同じく１５ページの小学生のための仕事ノートについて教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	株式会社中広というところが作成している、小学生向けに地域の産業や企業を紹介する冊子でございます。小学校中学年の総合的な学習の時間などで、様々な職業があることを学ぶ単元で、活用できる冊子と期待しております。 この会社のこれまでの実績としまして、京都市や越谷市、また群馬県でも作成し、中学生に配布された実績があります。京都市の冊子では地元の伝統野菜である九条ネギの製造、加工、販売といった会社が紹介されていたり、越谷市の方の冊子では造園土木の会社などが紹介されていたりします。この冊子を作成するにあたっては、地元企業から協賛金を集めており、その協賛した地元企業をこの冊子に掲載しております。子どもたちに地域の産業を知ってもらう良い機会になると考え、作成し、配布しているものですので、子ども達のために活用できればと考えております。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	２９ページの５月１６日に行われた製図体験講座の内容と参加者について教えてください。
子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、たてばやし向井千秋記念子ども科学館長。
子ども科学館長	製図体験体験講座は、厚労省認定のものづくりマイスターを講師にお迎えし、子どもたちにものづくり体験を通して、ものづくりへの興味関心を高めていただくことを目的に実施いたしました。本講座は、今年で２年目の開催となります。

会議の経過	
	講座の内容は、最初に製図についての基礎的な学習を行い、その後、実際に紙飛行機の製図を基に紙飛行機を工作していただくといったものです。３時間という長い時間の講座でしたが、子どもたちの集中が途切れることなく、熱心に作業をしておりました。飛行機の飛び方を見て改良を加えたり、微調整をしたりと、非常に意欲的に取り組んでいました。参加者は小学４年生から中学３年生までの計１０名でした。内訳は市内が４名、市外が６名で、市外の方は前橋市や鴻巣市から参加の方もいらっしゃいました。また、男女別では男子７名、女子３名となっております。今後も様々な講座を開催し、子どもたちが夢を育むきっかけとなる機会を提供してまいりたいと考えております。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	１８ページの５月３０日の里沼モンスターカードラリーについて教えてください。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	この里沼モンスターカードラリーは、館林商工会議所所属の館林ウェストファームマーケット実行委員会が主催し、科学館ＭａｙＭａｒｋｅｔのイベントに合わせて、科学館周辺の場所で開催されました。 イベントの詳細につきましては、概要としては、向井千秋記念子ども科学館、館林市第二資料館、田山花袋記念文学館の３施設を巡り、３種類のモンスターカードを配布したものです。 科学館では里沼の大鯰、館林市第二資料館では上三林のささらに出てくる３匹の獅子舞、田山花袋記念文学館では尾曳の白ぎつねのカードを配布しました。３施設を巡りカードを集めた方には、館林ウェストファームマーケットの事務局から参加者にお菓子の記念品が渡されました。マーケットではワークショップや動物のふれあい体験、物販や飲食の店舗が出店し、館林女子高校のボランティア１３名も協力して開催されました。今回のスタンプラリーでは子ども達へカードをきっかけに日本遺産の里沼を知っていただく良い機会となりました。また、カードを渡すだけでなく、施設の見学もしていただくことで、文化財の認知度を上げるいい機会となりました。
木戸委員	ありがとうございました。

会議の経過	
教育長	他にございませんか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	３７ページの学校給食の献立について、６月３日に提供される図書給食～ぎょうざがいなくなりさがしています～の内容について教えてください。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	は、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	子どもたちに本への興味を持ってもらうこと、それから食育の一環として、絵本や物語の中に登場する料理を学校給食で再現する取り組みです。６月はぎょうざがいなくなりさがしていますという絵本にちなみ、話の中に登場する餃子を献立の１つとして提供したものでございます。
栗原委員	子どもたちには、絵本の話などもされているのですか。
学校給食センター所長	特にこの日が餃子の日というわけではありませんが、食に関する絵本のテーマに合わせた給食として提供しただけでございます。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	２１ページの資料館に資料寄贈件数１件とありますが、こちらの寄贈内容を教えてください。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	こちらの資料寄贈の内容につきましては、初代館林市長で館林市名誉市民でもいらっしゃる、遠藤仁之輔家の資料を３０４点の寄贈をいただきました。主に遠藤氏の市長就任前後の昭和２０年代後半の資料であり、選挙活動時に使用した腕章や懸垂幕など、当時の選挙活動の状況をうかがえる大変貴重な資料となっております。遠藤氏が千眼寺の総代を務めていた関係で所有していた千眼寺の関係資料もございまして、お寺と総代、地域の事務的なやりとりの記録が主な内容となっております。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	３４ページの７月２６日の親子でわくわく音読ぼうけん教室について

会議の経過	
	教えてください。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	この事業は、夏休みの行事の１つとして、小学１年生から４年生の親子を対象とした音読朗読の教室でございます。音読朗読のコツを講師の先生から教わり、最後にみんなで群読といってパートに分かれて読み上げることを行います。子どもの読む力を育てるとともに、音読に対する自信をつけることを目的に実施しております。毎年、対象や開催時期を変えながら親子で絵本や物語を声に出して読むことで、言葉の力や想像力、表現力を育むとともに、親御さんにも音読の楽しさを体験していただこうと実施するものでございます。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	３６ページの５月１１日から２９日の給食センターの報告で、１年生に対する食事のマナーについての指導について、どのような内容で行っているか教えてください。
学校教育センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校教育センター所長	給食の時間に市の栄養士が学校へ出向き、月ごとにテーマを決めて指導を行っております。食事のマナーにつきましては、みんなで楽しく給食を食べるために食事の挨拶をする、正しい姿勢で食べる、食器を持って食べる、食べ物を口に入れたまま話さない、できるだけ好き嫌いをしないなどの指導を行っております。
木戸委員	ちなみに、児童生徒はコロナ禍では前を向いて給食を食べていましたが、今はそれ以前のようにグループで食べたりしているのでしょうか。
学校教育センター所長	学校に聞き取りをしたところ、大半のクラスでは前を向いて食べております。ただ、一部のクラスではグループで食べているところや、小規模校でランチルームにて対面で食べているところもございます。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	他にございませんか。 （委員から「なし」の声あり）
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。

会議の経過	
	（委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第５　議事に入ります。 議案第６５号　館林市社会教育委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
生涯学習係長	（別紙資料に基づき説明） 提案理由：館林市社会教育委員の任期は２年であり、令和８年９月３０日までであるが、所属団体の役員改選等に伴い、後任者に委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 （委員から「なし」の声あり）
教育長	それではお諮りします。本案につきましては、原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め。本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第６６号　館林市青少年センター運営協議会委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
生涯学習係長	（別紙資料に基づき説明） 提案理由：館林市青少年センター運営協議会委員の任期は２年であり、令和８年９月３０日までであるが、４月１日付け人事異動及び所属団体の役員改選に伴い、後任者に委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 （委員から「なし」の声あり）
教育長	それではお諮りします。本案につきましては、原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、日程第６　その他で何かございますか。 （委員等から「なし」の声あり）
教育長	ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会いたします。　　（午後３時５８分）